

自主検査記録書（弛度）

第 延線

工事件名： _____

弛度測定記録

緊線区間 No.	観測径間 No.	鉄塔中心径間 (m)	回線	種別	基準相	相別	観測月日	気温 (°C)	天候	基準計算弛度 d1 (m)	観測弛度 d0 (m)	差 $\Delta d = d0 - d1$ (m)	差 $\frac{\Delta d}{d1} * 100$ (%)	観測方法	備考				
~	~		1号線	地線	-	-													
				電力線		1番線													
						2番線													
			2号線	地線	-	-													
				電力線		1番線													
						2番線													
弛度自主検査目標値				①計算弛度に対し (0~+ %以内) であること。 ②相間不揃いは (± mm) の範囲で、水平導体不揃いは (± mm) の範囲以内であること。															

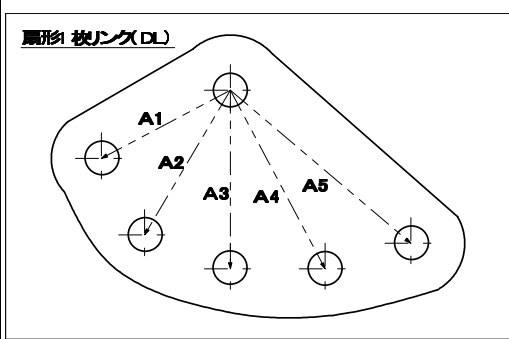
※目標値記入

検査装置（角度法の場合）

機器名	
製造者	
型式	
製造年	
製造番号	
校正年月日	

注：1. 弛度は小数第3位を四捨五入し、小数第2位までの記入とする。
 2. 基準相（*）の記入は、完全プレハブ時に記入する。

弛度調整金具取付位置

緊線区間	回線	位置別	取付穴位置		回線	位置別	取付穴位置		弛度調整金具							
			No.	No.			No.	No.								
			(-)側	(+)側			(-)側	(+)側								
~	1号線	1			2号線	1			扇形 楔ノグ(DL) 							
		2				2										
		3				3										
DL-880-1 寸法表 (mm)			<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td>A1</td><td>60</td></tr> <tr><td>A2</td><td>70</td></tr> <tr><td>A3</td><td>80</td></tr> <tr><td>A4</td><td>90</td></tr> <tr><td>A5</td><td>100</td></tr> </table>	A1	60	A2	70	A3		80	A4	90	A5	100		
A1	60															
A2	70															
A3	80															
A4	90															
A5	100															

処置・確認記録

その手直し・処置	年.月.日	検査者氏名	内容	確認者

(全体評価・コメント)

_____ _____ _____ _____ _____	現場代理人サイン <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
---	---